

みえICT・データサイエンス推進構想 - デジタル活用で拓く地域の未来 - (概要)

はじめに

1 構想策定の背景

- 社会を取り巻く状況の変化
(第四次産業革命、Society5.0、SDGs、データの価値)

2 構想策定の主旨

- 県の取組方針 (みえ県民カビジョン・第三次行動計画、みえ産業振興ビジョン) を踏まえた構想
- 経済の活性化や社会的課題の解決にデータを活用する重要性が増大

第1章 構想の基本的な考え方

1 あらゆる産業分野におけるICT・データの活用促進により地域経済を元気に

- ① 労働力不足対策、生産性向上等の課題をICTの力で解決
- ② データから新たな知見を発見、これまでにない商品・サービスが創出
- ③ 県内企業において、ICT人材等の活躍の場が拡大

2 ICT・データを活用した地域の様々な主体の協創により、地域課題を解決

- ① 企業が展開する新たな事業が、地域課題解決に貢献
- ② 地域住民との協働による取組で、地域課題の解決が加速

三重県の特性を活かしながら、ICTやビッグデータを最大限に活用することで、三重県に住む人、また三重県を訪れる人の幸福実感の向上を図る。

- ◆ イノベーションを支える新たな価値の創出が進む三重県
 - ◆ 様々な地域課題の解決に貢献する人材が集積する三重県
- を見据えて
取り組む

第2章 取組の方向性

1 企業や地域で活躍するICT人材・データ活用人材の育成や情報通信産業の振興

2 地域特性を活かす視点を踏まえたプロジェクトの支援・推進

【地域特性】

- ① エレクトロニクス産業の集積
(交通、消費、医療、福祉等生活環境をトータルにデザインしたまちづくり等)
- ② 四日市臨海部工業地帯 (保守・点検の効率化、現場従業員の健康管理等)
- ③ 県内で進む自動運転実証実験
- ④ 県内に広く展開する地域BWA
- ⑤ 利用率が高いキャッシュレス決済 (全国4位、「三重県キャッシュレス推進方針」)
- ⑥ 高等教育機関等の特徴的な取組 (地域連携PBL等)
- ⑦ 三重県IoT推進ラボの活動 (IoTによる生産性向上、ICT人材の育成)

3 ICT活用やデータ活用の取組を推進する環境の整備

構想の推進母体の設立

「三重県官民データ活用推進計画(仮称)」に基づく行政データのオープン化の推進

第3章 取組内容

1 人材の育成と情報通信産業の誘致・育成

- ① 企業経営者層を対象とするセミナー等の開催
- ② 人材育成の実施 (リカレント教育、STEAM教育)
- ③ 情報通信産業の誘致・育成

2 データ活用プロジェクトの創出・推進

- ① 市町、企業等におけるデータ活用の促進
- ② 地域特性を活かした実証フィールドの積極的活用やベンチャー誘致等による加速化
 - ・ 商工、観光、ヘルスケア、防災、まちづくりなど各分野におけるデータ活用
 - ・ 水産、まちづくり分野における実証フィールドとしての活用
 - ・ 実証フィールドへのベンチャー等の誘致による課題解決の加速化
- ③ シビックテックとの連携

3 推進体制・基盤の構築

- ① 協議会の設立 (「みえ・ICTデータサイエンス推進協議会(仮称)」を設立し、「三重県IoT推進ラボ」との一体化によりICT活用とデータ活用を両輪として推進)
- ② データ活用プロジェクト支援機能の構築 (有識者ネットワークによる助言・支援等)
- ③ 進行管理 (PDCAサイクルを構築し、進行管理、見直し、改善)

設定指標	目標値			
	参考値 (平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
データ活用プロジェクト創出・支援数 (累計)	—	2件	5件	8件
地域住民が参画した取組数	—	3件	4件	5件
ICT/IoTの導入・活用が実現し、業務改善、生産性向上、労働力不足の解消等につながった企業の数 (累計)	—	3件	7件	12件
ICT人材等育成数	50人	50人	50人	50人